

# 平成19年度 文学講座・特別講演会を開催しました。

## テーマ 歴史から学ぶリーダーの資質

### 講師 童門 冬二氏



#### 童門冬二氏プロフィール

本名太田久行。1927年（昭和2年）東京に生まれる。東京都目黒区役所を振り出しに、知事秘書、広報室長、企画調整局長、政策室長等を歴任して1979年に退職。作家活動に入る。第43回芥川賞候補。主な著書に「小説上杉鷹山（上・下）」「青春児一小説伊藤博文（上・下）」など多数ある。組織や人間を歴史と現代の二つの側面から独特の視点で描く手法が高く評価され、多くのファンを獲得している。日常生活で求めたモチーフ（組織と人間、そしてその永久改革）を作品でも追求し、特に歴史の中から現代に通ずるものを好んで執筆する。時代小説の第一人者である。日本文芸家協会・日本推理作家協会会員。

3月25日（火）、午後1時30分から市原市勤労会館（YOUホール）にて「文学講座・特別講演会」を開催しました。

講師に歴史小説家の童門冬二氏、テーマは「歴史から学ぶリーダーの資質」でした。

当日は天候に恵まれて、定員を上回る221名の参加があり、講演会は盛況に行われました。

歴史の内容をわかりやすく興味をもてるようにお話くださった童門氏は、80歳！

その人柄と雰囲気に参加者たちは魅了され、『もう一度聞いてみたい』『<sup>じよ</sup>「怒の心」が印象に残った』という感想が多くありました。

